

韓日対訳シナリオ集から見た日本語と韓国語の アスペクト形式の対応関係

—「-テイル」形とそれに対応する韓国語の形式を中心に—

李 在 鉉・白 川 博 之

Correspondence between Japanese and Korean Grammatical Aspect Forms as
Seen through the Korean-Japanese Parallel Translation Scenario Collection

Jaehyeon LEE, Hiroyuki SHIRAKAWA

1. はじめに

次に示すのは、韓国的高等学校『日本語Ⅰ』の教科書にある「-テイル」形についての説明である¹⁾。

- (1) 動詞+「ている」には、進行中の動作を表す ‘~go iss-da’ という意味以外に、過去に起きて現在まで続いているという意味を表す ‘~eo iss-da’ という二つの意味を持っている。

(エデュソウル (2013), p.223)

- (2) ~ている用法：韓国語の「-go iss-da」「-eo iss-da」に該当する表現であり、動詞により進行、結果状態、習慣・反復、単純状態、経験などの意味を表す。

(知学社 (2007), 教師用文法ノート p.18)

(1) (2) のような説明は、【「-テイル」形=「-go iss-da」「-eo iss-da」形】のような関係にあるように読み取れる。

ところで、韓国語では、次の (3) (4) のように、「-n-da」形（非過去形、「-ル」に当たる）で動作の進行の意味を、「-eoss-da」形（過去形、「-タ」に当たる）で結果の状態の意味を表すことができる。

- (3) (「食べる」という動作の進行中の意味で)
ご飯を a. {meok-n-da / meok-go iss-da}.
食べ-る 食べ-ている
b. {#食べる / 食べている}。 (作例)
- (4) (窓が閉まっているのを見て)
窓が a. {dadhi-eoss-da / dadhi-eo iss-da}.
閉ま-った 閉ま-っている
b. {#閉まった / 閉まっている}。 (作例)

日韓対訳小説作品を用いた、「-テイル」形と韓国語の形式との対応関係についての先行研究（柴 (1993), 小出 (2000), 李 (2010), キム (2016)）では、「-テイル」形のすべての用法において、(3) (4) のように、韓国語の複数の形式に対応すると指摘している。具体的には、先行研究によって多少違いはあるが、[動作の継続]と「くりかえし」を表す場合に「-テイル」形と「-go iss-da」「-n-da」形が対応し、[結果の状態]と[単なる状態]、[経験・記録]を表す場合に、「-テイル」形と「-eo iss-da」「-go iss-da」「-eoss-da」形が対応すると報告されている。

このように「-テイル」形は韓国語の複数の形式と対応しているにもかかわらず、(1) (2) のように説明されるのは、「-テイル」形は、基本的に「-go iss-da」「-eo iss-da」形に対応しているからだろうか。

このような問題意識から、本稿では日本語と韓国語のアスペクト形式の対応関係について考察を行う。

2. 調査の概要

2-1. 調査の対象

先行研究では、日韓対訳本を対象としているが、李 (2010: 125) は、動作の進行を表す「-テイル」形が使用されている場面において、翻訳者が重複回避のため、韓国語の「-n-da」「-go iss-da」形を交代使用していると指摘している。これは、「-テイル」形は、韓国語のアスペクト形式が複数対応するため、「-テイル」形を翻訳する際に、翻訳者の主観により韓国語の形式が使用される恐れがあると考えられることができる。そのため、日本語と韓国語のアスペクト形式の対応関係について正確に把握するためには、韓日対訳本も用いる必要があると考えられる。

また、キム（2016：206）は、韓国語のアスペクト形式の使い分けについて、「動作の継続を積極的に表現しようとするとき、状況や事件の客観的な説明・描写に「-go iss-da」「-eo iss-da」を使用する」と説明しているが、「-go iss-da」「-eo iss-da」形の使用には、文体による影響があると考えられる。

これらのことから、本稿では、場面の説明が小説などより具体的であることと、登場人物の動作の指示や場面の説明・描写をする【地の文】と登場人物のセリフである【会話文】の区分が明確であることから、韓日対訳シナリオ集を調査の対象とする。詳細は、次の通りである。

- (5) a. ドラマシナリオ集 4冊
 ：『冬のソナタ』『オールイン』『美しき日々』『クッキ』
 b. 映画シナリオ集 4冊
 ：『四月の雪』『猟奇的な彼女』『僕の彼女を紹介します』『青春漫画』

先行研究では「-テイル」形に対応する形式として「-go iss-da」「-eo iss-da」「-n-da」「-eoss-da」以外に、「-eoss-eoss-da」「-eo bo-ass-da」「-n jeog-i iss-da」「形容詞」「形容動詞」なども取り上げているが、これは、両言語間の品詞の違いによるものであったり、対応数が非常に少なかったりするため、周辺的なものと見なし、本稿では次のような形式を調査の対象とする。

表 1 調査の対象とする両言語の形式

日本語	韓国語
-テイル	-n-da
	-eoss-da
	-go iss-da
	-eo iss-da

2-2 調査の方法と手順

調査の方法は、「-テイル」形に訳されている韓国語のアスペクト形式は何かを見ることで、「-テイル」形とそれに対応する韓国語のアスペクト形式の対応関係について考察を行う。

調査の手順は、次のとおりである。

- ①シナリオ集をスキャンし OCR ソフト (e.Typist v.15.0 (58 カ国語対応版)) で電子データ化する。
- ②電子データ化したものを、Text editor (秀丸

ver8.54) を用い文単位で切る。その後、Microsoft Excel に読み込み、フィルター検索 (検索語：「ている」「てる」「てん」「ておる」「ており」) を用い、「-テイル」形に対応する韓国語の各アスペクト形式がある文を抽出する。

- ③抽出された文を【地の文】と【会話文】に分け、さらにアスペクト形式の出現場所を「文中 (「～V+aspect mark+名詞」) と「文末 (「～V+aspect mark (+終助詞などの機能語)」)」に分ける。

なお、アスペクト形式の出現場所の判定は、日本語と韓国語の形態素分析の結果を基準とした (日本語：Web 茶豆 (<http://www.chamame.ninjal.ac.jp>), 韓国語：MeCab による韓国語の形態素分析ネット版 (<http://www.porocise.sakura.ne.jp/korean/mecab/analyzer.html>))。また、「文中」のものは、連体修飾などの影響で「文末」におけるアスペクト形式の使い方とは異なる場合があるため、最終的には「文末」に出現したものを考察の対象文とした。さらに、意識されたもの、韓国語と日本語の品詞の違いがあるものは除外した。

2-3 結果の予測

「動作の継続を積極的に表現しようとするときに「-go iss-da」、状況や事件の客観的な説明・描写に「-go iss-da」「-eo iss-da」を使用するというキム (2016：206) の分析が正しければ、全体的な傾向として次のように結果を予測することができる。

- (6) a. 【地の文】の場合は、場面や登場人物の動作などを説明・描写するといった特徴から、「-テイル」形と「-go iss-da」「-eo iss-da」形の対応が多く見られる。
- b. 【会話文】の場合は、「-テイル」形と「-go iss-da」「-eo iss-da」形の対応は、特定の場面 (動作の継続を積極的に表現しようとしたり、状況や事件の客観的な説明・描写しったりする場合) に限って見られ、「-テイル」形と「-n-da」「-eoss-da」形の対応が多く見られる。

3. 調査の結果および考察

対応関係についての結果は、まず、「-テイル」形とそれに対応する韓国語の形式の全体的な対応関係

を示し (3-1), その上で, 「-テイル」形の用法 (①動作の継続, ②結果の状態, ③単なる状態, ④経験・記録, ⑤くりかえし, ⑥心的状態) ごとの, 韓国語の形式との対応関係を示す (3-2)²⁾。

「-テイル」形と「-go iss-da」「-eo iss-da」形が対応する場合はどのような場合なのかを見ることで, 「-テイル」形が基本的に「-go iss-da」「-eo iss-da」形に対応するのかについて検証を行う。

3-1 「-テイル」形と韓国語の形式の対応関係の全体的な傾向

表2 「会話文」における「-テイル」形と対応する韓国語の形式

対応関係		[会話文] =770文	
-テイル	-n-da	502	591 (77%)
	-eoss-da	89	
	-go iss-da	138	179 (23%)
	-eo iss-da	41	

表3 「地の文」における「-テイル」形と対応する韓国語の形式

対応関係		[地の文] =1,940文	
-テイル	-n-da	387	402 (21%)
	-eoss-da	15	
	-go iss-da	864	1,538 (79%)
	-eo iss-da	674	

表2, 3からわかるように, 予測したとおりの結果が見られた。

「-テイル」形と「-go iss-da」「-eo iss-da」形の対応が[会話文 (23%)]より[地の文 (79%)]の方が顕著に多く見られたのは, 場面や登場人物の動作・心理状態などを説明・描写するという[地の文]の特徴に起因すると考えられる。[会話文]においては, 「-テイル」形が「-go iss-da」「-eo iss-da」形の対応より, 「-n-da」「-eoss-da」形の対応の方が顕著に多く見られた。

このことから, 「-テイル」形は, 基本的に「-n-da」「-eoss-da」形に対応し, 「-go iss-da」「-eo iss-da」形との対応は特定の場面に限って見られると考えることができる。

3-2 「-テイル」形の用法別, 韓国語の形式との対応関係の傾向

ここでは, どのような場合に「-テイル」形と「-go iss-da」「-eo iss-da」形が対応するのかに注目し, 「-テイル」形は, 基本的に「-n-da」「-eoss-da」形に対応し, 「-go iss-da」「-eo iss-da」形との対応は特定の場面に限って見られることを, 検証する。

なお, 詳細にわたる論証は別稿に譲り, ここでは典型例を挙げながら結果のみを示すこととする。

3-2-1 動作の継続を表す場合における対応関係

表4 「会話文」における, 動作の継続を表す「-テイル」形と韓国語の形式の対応関係

対応関係		[会話文] =162文	
-テイル	-n-da	100	62%
	-go iss-da	62	38%

表5 「地の文」における, 動作の継続を表す「-テイル」形と韓国語の形式の対応関係

対応関係		[地の文] =1,177文	
-テイル	-n-da	356	30%
	-go iss-da	821	70%

[会話文]では「-テイル」形と「-n-da」形の対応が, [地の文]では「-テイル」形と「-go iss-da」形の対応が, 顕著に多く見られた。

[会話文]では, 話し手が聞き手にある出来事について説明する場面に限って「-テイル」形と「-go iss-da」形の対応が見られた ((7) (8))。単に動作の継続を表す場面では, 「-テイル」形と「-n-da」形の対応が見られた ((9) (10))³⁾。

- (7) a. <Han-isa> jigeum hanlahotel-eseo miguk-
ハン-理事 いま 漢撃ホテル-では アメリカ-
hago hongkong tujaja-deul sangdae-lo
と 香港 投資者-達 相手-に
peulejenteisyon-eul ha-go iss-seubnida.
プレゼンテーション-を 行っ-てい-ます
b. ハン「いま漢撃ホテルでは, アメリカと香港の投資家を相手に, プレゼンテーションが行われてい-ます」 (オ)

- (8) a. <Sanghyeok> Yujin-i-neun miyongsil-eseo
サンヒョク ユジン-ちゃん-は 美容室-で
meoliha-go iss-deayo.
髪 -している-って
- b. サンヒョク「ユジンは美容室で髪をセット
してるって。」 (冬)
- (9) a. <Jimin> ya, ae-deul-i neo-man chyeodabo
ジミン ねえ子-達-が 君-だけ 見つめ
-n-da.
-る
- b. ジミン：「ねえ、みんなあなたを見ているわ。」
(青)
- (10) a. <Dallae> ya. neo eodi-l manji-φ-eo!!
ダルレ おい お前 どこ-を 触-る-の
- b. ダルレ：「ちょっと。あんたどこ触ってる
の!!」 (青)

〔地の文〕では、場面や登場人物の動作を描写する場合に「-テイル」形と「-go iss-da」形の対応が見られ((11) (12))、登場人物の動作を羅列的に述べる場合((13))や登場人物を演じる人にもふるまいを指示する場合((14))には「-テイル」形と「-n-da」形の対応が見られた。

- (11) a. Gukhui, han-jjok badag-e bottali-leul
クッキ 片隅 地面-に 包み-を
pyeonoh-go, Sinyong-ui os-ilang gudu-leul
広げ-て シニョン-の 服-や 靴-を
neuleonoh-go jangsa-leul ha-go iss-da.
並べ-て 商売-を し-てい-る。
- b. クッキ、片隅の地面に包みを広げて、シニョンの洋服や靴を並べて商売をしている。
(ク)
- (12) a. joesu-deul-i baegu deung, gagja
罪囚-達-が バレーボール など それぞれ
undong-eul ha-go iss-da.
運動-を し-ている
- b. 受刑者がバレーボールなど、それぞれ運動をしている。(オ)
- (13) a. Insu-ui cha-ga dali-n-da. Seoyeong-i mae
インスの車-が 走-る。 ソヨン-が 買
pyoso-eseo pyo-leul sa-n-da.
票所-で 票-を 買-う。
- b. インスの車が走っている。ソヨンが切符売場で切符を買っている。(四)

- (14) a. <Yujin> (uija-e anjeu-myeo Minhyeong-ui
ユジン 椅子-に 座-って ミニョン-の
seolyu-leul bo-neun eolgul-eul balabo-n-da)
書類-を 見-る 顔-を 見つめ-る
- b. ユジン (椅子に座って、ミニョンの書類を
見ている顔を見つめている) (冬)

このように、「-テイル」形と「-go iss-da」形との対応は、話し手が持っている情報を聞き手に伝えたり(〔会話文〕)、場面や登場人物の動作を描写したり(〔地の文〕)といった特定の場面に限って見られた。

3-2-2 結果の状態を表す場合における対応関係

表6 〔会話文〕における、結果の状態を表す「-テイル」形と韓国語の形式の対応関係

対応関係		〔会話文〕=125文	
-テイル	-n-da	5	58 (47%)
	-eoss-da	53	
	-go iss-da	27	67 (52%)
	-eo iss-da	40	

表7 〔地の文〕における、結果の状態を表す「-テイル」形と韓国語の形式の対応関係

対応関係		〔会話文〕=125文	
-テイル	-n-da	4	18 (3%)
	-eoss-da	14	
	-go iss-da	32	698 (97%)
	-eo iss-da	666	

結果の状態を表す場合、〔会話文〕と〔地の文〕において、「-テイル」形と「-n-da」「-eoss-da」「-go iss-da」「-eo iss-da」形の対応が見られた。

「-テイル」形と「-n-da」形の対応の例は、〔会話文〕と〔地の文〕ともに、ほかの対応に比べ非常に少なかったことと、命令文と条件文の例であったことから、特殊な場合と見なし、ここでは、「-テイル」形と「-eoss-da」「-go iss-da」「-eo iss-da」形の対応の例を取り上げることとする。

〔会話文〕の傾向は全体的な傾向と違い、「-テイル」形と「-go iss-da」「-eo iss-da」形の対応が多いが、その対応は、話し手が聞き手にある出来事について説明する場面において見られた((15)「-go iss-da」・(16)「-eo iss-da」)。単に結果の状態を表す場

面では「-テイル」形と「-eoss-da」形の対応が見られた ((17) (18))。

- (15) a. <Yi biseo> geu jung-eoseodo kimsanhun,
イ 秘書 その中-でも キム・サンフン
i salam-i umjigi-neun jihajabon-i gajang
この人-が 動か-す 地下資本-が 最も
keu-n geol-lo natana-go iss-seubnida.
大きい こと-と され-てい-ます。
b. イ秘書「その中でもキム・サンフン、この
者の動かす地下資本が、最も大きいとされ
ております。」 (ク)
- (16) a. <Milan> KimInha...YuJonggu du salam
ミラン キム・イナ ユ・ジョング 2 人
...salinsageon-e yeonludue-eo iss-eo.
殺人事件-に 関わっ-てい-る
b. ミラン「キム・イナとユ・ジョングの2人
は、殺人事件に関わってるの。」 (オ)
- (17) a. <Yujin> eo? (bo-n-da) nun-i chunghyeldwe
ユジン あれ 見る 目-が 充血し
-eoss-da...jam mos ja(a)ss-eo?
-た 眠り 否定 寝-た
b. ユジン「あれ? (ジュンサンを見て) 目が
充血してる...眠れなかったの?」 (冬)
- (18) a. <Jihwan> oneul-eun dali myeondoha-eoss-ne.
ジファン 今日-は 足 剃っ-た-な
b. ジファン:「今日は、足の毛を剃ってるな。」
(青)

〔地の文〕では、動作の継続を表す場合と同様な傾向であり、場面や登場人物の動作を描写する場合において「-テイル」形と「-eo iss-da」形 ((19) (20)) 「-go iss-da」形 ((21) (22)) の対応が見られた。

- (19) a. Changho-ga jjugeulyeo anj-a iss-go
チャンホ-が シャガみ込ん-でい-て
Yeonghun-i geu ap-e seo-(eo)iss-da.
ヨンフン-が そ 前-に 立っ-てい-る
b. チャンホは、シャガみ込み、ヨンフンは、
その前に立っている。 (青)
- (20) a. geu ggot wi-e hui-n nun-i sobok-i
その 花 上-に 白-い 雪-が こんもり-と
ssahi-eo iss-da.
積もっ-てい-る

- b. 花の上には白い雪がこんもりと積もってい
る。 (四)

- (21) a. Seunggug-eun sanyanggae-ui jul-eul
スングク-は 獵犬-の 紐-を
jab-go iss-da.
握っ-てい-る
b. スングクは獵犬の紐を握っている。 (オ)
- (22) a. Gangbiseo, unjeonha-go Jutae, ta-go iss-da.
カン秘書 運転し-て ジュテ 乗っ-てい-る
b. カン秘書、運転しており、ジュテ、乗って
いる。 (ク)

〔地の文〕において「-テイル」形と「-eoss-da」形の対応は、716例の中14例 (2%) で少なかったが、次のように登場人物の動作を述べる場合に見られた。

- (23) a. Chisu-ui saengil-eul chukhaha-gi wihae,
チス-の 誕生日-を 祝う-ため
Taejun, Yongtae, Sangu, Sibong-i chajao
テジュン ヨンテ サング シボン-が 訪れ
-ass-da.
-た
b. チスの誕生日を祝うため、テジュン、ヨン
テ、サング、シボンが訪れている。 (オ)
- (24) a. Gukhui, Taehwa-ui chimdae-e gidae
クッキ テファ-の ベッド-に もたれ
jam-i deul-eoss-da.
眠り-に つい-た
b. クッキ、テファのベッドにもたれて眠って
いる。 (ク)

このように、結果の状態を表す場合も、動作の継続を表す場合と同様に、「-テイル」形と「-go iss-da」 「-eo iss-da」形との対応は、特定の場面 (話し手が聞き手にある出来事について説明したり ([会話文]), 場面や登場人物の動作を描写したり ([地の文])) する場面において見られた。

3-2-3 単なる状態における対応関係

表8 〔会話文〕における、単なる状態を表す「-テイル」形と韓国語の形式の対応関係

対応関係		〔会話文〕=30文	
-テイル	-n-da	14	47%
	-eoss-da	16	53%

表9 「地の文」における、単なる状態を表す「-テイル」形と韓国語の形式の対応関係

対応関係		[地の文] =14文	
-テイル	-n-da	12	86%
	-eoss-da	1	7%
	-go iss-da	1	7%

単なる状態を表す場合では、「-テイル」形と「-go iss-da」「-eo iss-da」の対応は、[会話文]においては見られなかった。[地の文]においては、次のように、登場人物の表情を描写する場合の1例が見られた。

- (25) a. <Jonggu> (jeongsin-i naga-n-deus-han
ジョング 精神-が 出-る-よう-な
eolgul-eul ha-go iss-da)
顔-を し-てい-る
b. ジョング(魂の抜けたような顔をしている)
(オ)

3-2-4 くりかえしにおける対応関係

表10 [会話文]における、くりかえしを表す「-テイル」形と韓国語の形式の対応関係

対応関係		[会話文] =51文	
-テイル	-n-da	35	69%
	-go iss-da	16	31%

表11 「地の文」における、くりかえしを表す「-テイル」形と韓国語の形式の対応関係

対応関係		[地の文] = 2 文	
-テイル	-n-da	1	50%
	-go iss-da	1	50%

[会話文] おいては、動作の継続の場合と同様に、話し手が聞き手にある出来事について説明するような場面((26) (27))に「-テイル」形と「-go iss-da」形の対応が見られた。

- (26) a. <Milan> jeonggiyeog-eulo joligyeongjin
ミラン 定期的-に 調理競進
daehue-leul yeoleo-seo donggibuyeo-leul
大会-を 開い-て 動機付与-を
ha-go iss-seubnida.
し-てい-ます

- b. ミラン「定期的に腕を競う料理大会を開いて、動機付けを行っています」 (オ)
(27) チャン「私の記憶だと、あの時は新入りのディーラーだったようだったが…」
a. <Suyeon> jigeum-eun hotel-eseo ilha
スヨン 今は ホテル-で 働い
-go iss-seubnida
-てい-ます
b. スヨン「今はホテルで働いてます」 (オ)

[地の文] においては、(28) のように、登場人物の動作を描写する場合に見られた。

- (28) a. yeop-ui yeoja-ga hilkkeum hilkkeum
横-の 女性-が ちら ちら
chyeodabo-go iss-da.
見-てい-る
b. 横の女性がちらちら見ている。 (青)

3-2-5 経験・記録における対応関係

表12 [会話文]における、経験・記録を表す「-テイル」形と韓国語の形式の対応関係

対応関係		[会話文] =14文	
-テイル	-eoss-da	13	93%
	-eo iss-da	1	7%

経験・記録を表す場合では、「-テイル」形と「-go iss-da」「-eo iss-da」の対応は、[会話文]においては、話し手が聞き手にある出来事について説明する場面の1例が見られた。

- (29) a. <namja> geogi nao-n dealo jjuk migug-
男子 そこに 出-る 通り ずっと 米国-
eseo na-seo jalao-n geol-lo doe
で 生まれ-て 育つて-く こと-に なっ
-eo iss-seubnida.
-てい-ます
b. 男「そこにあるように、アメリカで生まれ、ずっと当地で育ったことになっています」
(冬)

[地の文] においては、経験・記録の用法の例は見られなかった。

3-2-6 心的状態における対応関係

表13 [会話文]における、心的状態を表す「-テイル」形と韓国語の形式の対応関係

対応関係		[会話文] =388文	
-テイル	-n-da	348	90%
	-eoss-da	7	2%
	-go iss-da	33	8%

表14 [地の文]における、心的状態を表す「-テイル」形と韓国語の形式の対応関係

対応関係		[地の文] =31文	
-テイル	-n-da	14	45%
	-go iss-da	9	29%
	-eo iss-da	8	26%

[会話文]において、心的状態を表す動詞は、次のように、話し手が聞き手に自分の心理状態を説明する場合((30))に限って「-テイル」形と「-go iss-da」形の対応が見られた⁴⁾。

- (30) a. <In-ha (nalaeisyeon)> jigeum na-n nae
イナ ナレーション 今 俺は自分
modeun geos-eul geol-go...ha-n salam-eul
すべて 物-を 賭け-て 一 人-を
salangha-go iss-seubnida.
愛し-てい-ます
- b. イナ (ナレーション)「今、俺は、自分の
すべてを賭けて…、ひとりの人を愛し-てい-
ます」 (オ)

[地の文]でも登場人物の心理状態を描写する場合において「-テイル」形と「-go iss-da」形((21))・「-eo iss-da」形((22))の対応が見られた。

- (31) a. Jeongwon-i chaeksang-e anja-seo jejudo-
ジョンウォン-が デスク-に 座つ-て 済州島-
ui daejeongmokjang-eseo bo- ass-deon
の テジョン牧場-で 見 -た
janinha-n gwanggyeong-eul tteoilli
残酷-な 光景-を 思い返し
-go iss-da.
-てい-る

- b. ジョンウォン、デスクに座り、済州島のテ
ジョン牧場での凄惨な出来事を思い返し-
てい-る。 (オ)

- (32) a. Inha, chimdae-e nuwo-seo, saenggag-e
イナ ベッド-に 仰向け-て 物思い-に
bbaji-eo iss-da.
浸つ-てい-る
- b. イナ、ベッドに仰向けになって、物思いに
浸つ-てい-る。 (オ)

以上、どのような場合に、「-テイル」形と「-go iss-da」「-eo iss-da」形が対応するのかに注目し、「-テイル」形の用法別、韓国語の形式との対応関係について見てきた。「-テイル」形の基本的用法とされている、動作の継続と結果の状態を表す場合においては、全体的な対応関係と似たような傾向であったが、「-テイル」形の派生的な意味である、単なる状態やくりかえし、経験・記録と心的状態を表す場合においては、[会話文]と[地の文]ともに、「-テイル」形と「-n-da」「-eoss-da」形の対応が「-テイル」形と「-go iss-da」「-eo iss-da」形の対応より顕著に多かった。

「-テイル」形と「-go iss-da」「-eo iss-da」形が対応する場合はどのような場合なのかについて考察した結果、「-テイル」形の用法とは関係なく、[会話文]においては話し手が聞き手にある出来事について説明する場合、[地の文]においては場面や状況を描写する場合に限って、「-テイル」形と「-go iss-da」「-eo iss-da」形の対応が見られた。

4. まとめ

今回の調査で、「-テイル」形と「-go iss-da」「-eo iss-da」形に対応する場合は、ある出来事や状況を説明・描写するといった特定の場面に限って見られることが明らかになった。

このことから、「-テイル」形は基本的に「-n-da」「-eoss-da」形に対応し、ある特定の場面に限って「-go iss-da」「-eo iss-da」形に対応すると考えることができる。(1)(2)のような説明は日本語と韓国語のアスペクト形式の形態上([V+中止形[て=go, eo]+存在動詞[いる=iss-da]])の類似点に着目した結果であると思われる。このような、日本語と韓国語の類似点に着目した文法説明は、学習者が拡大解釈をし、誤用をする恐れがあると思われる。日

本語と韓国語のアスペクト形式の使い分けの違いに着目した文法説明が必要であると考えられる。

日本語と韓国語のアスペクト形式の使い分けの原理の違いについては、紙面の都合上、ここでは論証を控えるが、見通しとして述べておく。

韓国語は、「-n-da」「-eoss-da」形でも「-go iss-da」「-eo iss-da」形でもアスペクト的な意味に使用できるが、「-go iss-da」「-eo iss-da」形はある出来事や状況を説明・描写する場面に限り、その使用が見られた。ある出来事や状況を説明・描写する場面という要因が、韓国語のアスペクト形式の選択基準になると思われる。

さらに進んで、どのような場合に、説明・描写するのかを考えてみると、話し手が持っている認識(情報・理解)を聞き手に伝えたり、聞き手が持っている認識を修正したりする場合に説明・描写をすると考えることができる。つまり、話し手が持っている認識と聞き手が持っている認識にずれがあるかどうか、韓国語のアスペクト形式の使い分けの基準になると思われる。

日本語と韓国語のアスペクト形式の使い分けの原理の違いについては、稿を改めて論じたい。

注

- 1) (1) (2) の原文は韓国語であるが、日本語訳は筆者によるものである。
- 2) 「-テイル」形の用法は、吉川 (1976) の5つの用法に、[思考感情動詞 (思う, 考える, 愛する など) + テイル] の心的状態を表す場合を加え、6つの用法に分けた。
- 3) (7) ～ (32) の用例の韓国語のローマ字表記や韓国語の直訳は筆者によるものである。
- 4) 「-テイル」形の「心的状態」の用法は、感情・思考の動詞の特殊性もあり、また、文数が[会話文]の総文数の約半数を占めることから、この用法のデータが全体の傾向に影響を与えた可能性が疑われるかもしれない。しかし、この用法以外の用法に限って集計しても、次のようになり、全体的な傾向は大きく変わらない。

【会話文】における、「心的状態」の用法を除いた「-テイル」形と対応する韓国語の形

対応関係		[会話文] = 382文	
-テイル	-n-da	154	236 (62%)
	-eoss-da	82	
	-go iss-da	105	146 (38%)
	-eo iss-da	41	

参考文献

- 李忠均 (2010) 「日韓両言語のアスペクト形式の相に関する研究—翻訳書を中心に」『日本語学論集』6, 118-131. 東京大学大学院人文社会系研究科国語研究室
- 井上優・生越直樹・木村英樹 (2002) 「テンス・アスペクトの比較対照—日本語・朝鮮語・中国語」生越直樹 (編)『シリーズ言語科学4 対照言語学』, 125-160. 東京大学出版会
- キム・ヒョウシン (2016) 「韓・日両国語の時相対照研究—「V ている」の対応様相を中心に—」大邱カトリック大学校大学院日語日文学科博士論文
- 小出重弥 (2000) 「「～ている」と「～go/eo iss-da」に関する一考察」『日本語教育』17, 229-249. 韓国日本語教育学会
- 柴公也 (1993) 「「～ている」の意味と用法について—対応する韓国語の表現との対照研究—」『日本学報』32, 139-152. 韓国日本文化学会
- 吉川武時 (1976) 「現代日本語動詞のアスペクトの研究」金田一春彦 (編)『日本語動詞のアスペクト』, 155-327. むぎ書房
- ## 用例を収集した韓日対訳シナリオ集
- (冬) : 安岡明子訳 (2003)『『冬のソナタ』で始める韓国語～シナリオ対訳集～』(株)キマネ旬報社
- (オ) : 安岡明子訳 (2004)『『オールイン』で始める韓国語～シナリオ対訳集～』(株)キマネ旬報社
- (美) : 金井孝利訳 (2004)『『美しき日々』で始める韓国語～シナリオ対訳集～』(株)キマネ旬報社
- (ク) : 金井孝利訳 (2006)『『クッキ』(株)キマネ旬報社

(青)：福留友子訳(2006)『青春漫画』(株)ネクサス

(猟)：山坂れみな訳(2004)『猟奇的な彼女』(株)アーティストハウスパブリッシャーズ

(僕)：山坂れみな訳(2004)『僕の彼女を紹介します』(株)アーティストハウスパブリッシャーズ

(四)：吉野ひろみ訳(2005)『四月の雪』(株)ワニブックス